

保証書

持込修理

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

| | |
|--|-----------------|
| サイクロン式クリーナー | 品番 YC-C90H1 |
| ★お客様お名前 様 | |
| ★ご住所 〒 | ★電話番号 () - |
| 保証期間 ★お買上げ日 年 月 日から 本体…………… 1年間 (ただし、消耗部品、付属品を除く) | ★取扱販売店名、住所、電話番号 |

★印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

お買上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本保証書をご持参ご提示のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
 - 業務用としての使用、車両・船舶への搭載等一般家庭以外に使用された場合の故障または損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 消耗部品の交換 } 等
仕様変更
- 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や、出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ご転居の場合は事前にお買上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、下記の「お客様相談室」にお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

●修理メモ

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、18ページの「修理サービスについて」の項をご覧ください。

株式会社ヤマダホールディングス

【お客様相談室】 TEL 0120-258-260 (無料)

〒370-0841 群馬県高崎市栄町1番1号

受付時間：午前10時～午後9時（元日のみ休日）

Y12

取扱説明書

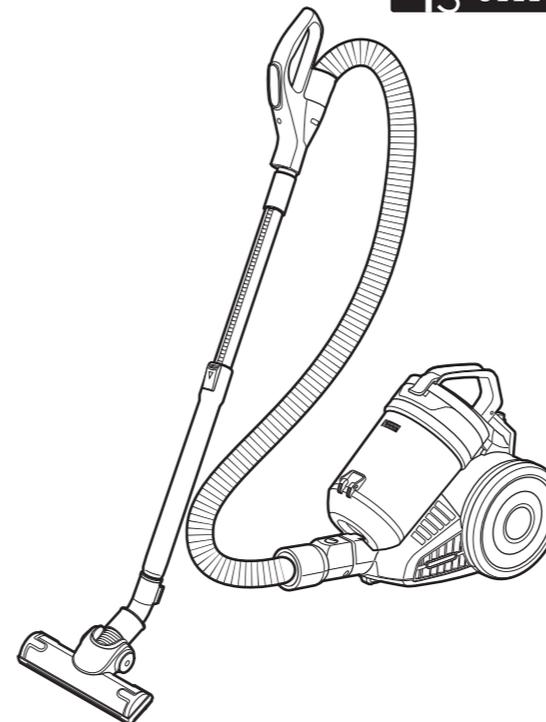
サイクロン式クリーナー 品番 YC-C90H1

一般家庭用
(業務用としては使用しないでください)

保証書付 (裏表紙)

お買上げまことにありがとうございます。

- この「取扱説明書(保証書付)」をよくお読みのうえ正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。特に1~5ページの「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この商品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.



もくじ

ページ

| | |
|--------------|-------|
| お使いになる前に | |
| 安全上のご注意 | 1~5 |
| 使用上のご注意 | 6 |
| 各部のなまえとはたらき | 7~8 |
| 組み立てかた | 9 |
| 使いかた | |
| 使いかた | 10~11 |
| ゴミを捨てる | 11 |
| 長くご愛用いただくために | |
| お手入れのしかた | 12~15 |
| 故障かな?と思ったら | 16~17 |
| 仕様 | 17 |
| 愛情点検 | 18 |
| 修理サービスについて | 18 |
| 保証書 | 裏表紙 |

取扱説明書(保証書付)・本体には商品の色記号の表示を省略しています。包装箱に表示している品番の()内の記号が色記号です。

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。その表示と意味は、次のようになっています。

●この表示を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる内容を、2つに区分しています。

| | |
|---|---------------------------------|
|  警告 | 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。 |
|  注意 | 人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。 |

●本文中の絵表示の意味です。

| | | | |
|--|--|--|---|
|  禁止 ○は、してはいけない「禁止」の内容です。 |  一般的な禁止 |  分解禁止 |  水場での使用・保管禁止 |
| |  水ぬれ禁止 |  ぬれ手禁止 | |
|  強制 !は、必ず実行していただく「強制」の内容です。 |  必ず行う |  電源プラグを抜く | |

警告

| | |
|--|--|
|  電源コードや電源プラグは乱暴に取り扱わない 電源コードまたは、電源プラグを傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものをのせる、束ねて使用する、などをしない。 感電・ショートによる発火の原因となります。修理はお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。 |  電源プラグのさし込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因となります。 |
|  本体に重いものをのせたり、強い衝撃をあたえない けが・事故・発火・故障の原因となります。 |  電源プラグをコンセントに長時間さし込んだままにしない 絶縁劣化による感電・火災・けがの原因となります。 |
|  屋外では使用しない 発火・故障・けがの原因となります。 |  吸込口や排気口をふさがない 発火・火災の原因となります。 |

警告

| | |
|--|---|
|  ホコリの多い場所や油煙の当たる場所に保管しない 発火・故障の原因となります。 |  運転中は長さ調節レバー操作をしない けがの原因となります。 |
|  子供や不慣れなかただけで使用させたり、子供の手の届くところで使用しない、保管しない やけど・感電・けがの原因となります。 |  業務用として使用しない、また不特定多数の人が使うところに置かない 長時間の連続吸引を避けてください。 |
|  運転中は、絶対に吸込口やフロアノズルの回転部に触れない けが・故障の原因となります。 |  人やペットに向けて使用しない けが・事故の原因となります。 |
|  本体の排気口やすき間に指などを入れない 感電・けがの原因となります。 |  水や液体、また多量の粉末は吸わせない 発火・火災・故障の原因となります。 |
|  引火性のもの(ガソリン・ベンジン・シンナーなど)の近くで使用しない、保管しない 爆発・火災の原因となります。 |  灯油・ガソリン・シンナーなど引火性のあるもの、タバコの吸殻など火の気のあるものや印刷機のトナーなどの可燃物を吸わせない 発火・火災の原因となります。 |
|  ぬれている各部品は使わない 感電・発火・故障の原因となります。 |  本体の排気口やすき間に金属物や異物を入れない 感電・けが・故障の原因となります。 |
|  階段を掃除するときは自分より段上に本体を置かない。また、椅子やテーブルの上に本体を置いて掃除しない けが・事故・故障の原因となります。 |  ホースを持って本体を持ち運んだり、ホースを踏みつけたりしない ホースの破損・故障の原因となります。 |

警告

| | |
|--|--|
|  <p>電源コード・電源プラグが傷んだり、コンセントのさし込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因となります。</p> |  <p>絶対に改造、分解をしない 改造はしない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない。火災・感電・けがの原因となります。修理はお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。</p> |
|  <p>浴室など高温多湿の場所や水のかかる場所では使用しない、保管しない 水場での使用 保管禁止 絶縁劣化による感電・漏電火災・事故の原因となります。</p> |  <p>ぬれた手で電源プラグの抜きさしはしない ぬれ手禁止 ショート・感電・けがの原因となります。</p> |
|  <p>本体・電源プラグ・ホース・伸縮式パイプ・フロアノズル・ブラシ付きすきまノズルを水に浸けたり、丸洗いはしない 水ぬれ禁止 (水洗いできる部品は除く) 火災・感電・ショート・故障の原因となります。</p> |  <p>電源プラグはコンセントの根元までしっかりさし込む さし込みが不完全な場合、発煙・発火・火災・感電・ショートの原因となります。</p> |
|  <p>異常・故障時には、ただちに使用を中止する 使用を続けると、発煙・発火・火災・感電・けがのおそれがあります。 <異常・故障例> ●本体が変形したり、異常に熱い。 ●電源コードや電源プラグが変形・変色・損傷している。 ●電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い。 ●電源プラグや電源コードを動かすと通電したり、しななかったりする。 ●異常なおいや音、振動がする。 ●ビリビリと電気を感じる。 ●「電源ボタン(入/切)」を押しても、運転しない。 ●運転中、時々止まる。 ●ホースが破れている。 ●その他の異常がある。 ※お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」に点検、修理を依頼してください。</p> |  <p>電源は交流100V・定格15Aのコンセントを単独で使用する 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火・火災・感電の原因となります。</p>  <p>電源プラグを抜きさしするときは、必ず電源を切る 感電・発火・火災の原因となります。</p>  <p>電源プラグは清潔にする 電源プラグの刃および刃の取付面にホコリが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。 発煙・発火・火災の原因となります。</p> |

お使いになる前に

警告

| | |
|--|--|
|  <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、電源プラグを持ってまっすぐ引き抜く 電源プラグを抜く 感電・ショート・発火・火災の原因となります。</p> |  <p>お手入れ、持ち運び、収納の際は、必ず、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く 電源プラグを抜く けが・感電・発火・火災・故障の原因となります。</p> |
|--|--|

注意

| | |
|--|--|
|  <p>掃除以外の目的では使用しない けが・故障の原因となります。</p> |  <p>火気に近づけない 変形によるショート・発火の原因となります。</p> |
|  <p>ベンジン・シンナー・アルコールで拭いたり、殺虫剤などのスプレーをかけたり、油や薬品を使う場所では使用しない 本製品が変質したり、故障の原因となります。</p> |  <p>ラジオやテレビなどの通信機器の近くで使用しない ラジオ・テレビ・無線機器などの映像や音声に乱れや雑音が入る原因となります。</p> |
|  <p>倒れやすいもの、壊れやすいものの近くで使用しない、本製品を壁に立てかけたり、立てたままにしない 財産の損害や倒れてけが・故障の原因となります。また、床面を傷つける原因となります。</p> |  <p>使用中や使用直後はお手入れしない けが・やけど・事故の原因となります。</p> |
|  <p>本製品を引きずったり家具や壁にぶつけない 床面などを傷つける原因となります。</p> |  <p>回転ブラシにゴミなどがからみついたままで長時間使わない 故障の原因となります。</p> |
|  <p>フィルター、またはダストカップ部の部品を外したままで使わない 発火・火災・故障の原因となります。</p> |  <p>吸込口やノズルを床や家具に押しつけない 床面や家具を傷つける原因となります。</p> |

お使いになる前に

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 注意

| | |
|--|---|
|  <p>電源コードを引き出すときは、ゆっくり引き出し、赤色印以上に引き出さない 故障の原因となります。</p> |  <p>吸込口やダストカップ内部にゴミなどが詰まったままで長時間使わない 発火・火災・故障の原因となります。</p> |
|  <p>運転中は絶対にダストカップ部を取り外さない ダストカップが外れ、ゴミが飛び散る原因となります。</p> |  <p>ノズルなどの本製品専用付属品と消耗部品を本製品以外に使用しない けが・故障の原因となります。</p> |
|  <p>フロアノズルの起毛布・ブラシカバー・回転ブラシなどが摩耗したり、砂・小石などの異物が付着したら、そのまま使わない 床面の傷つきの原因となります。 ご使用前に点検し、摩耗時はお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。</p> |  <p>ノズルなどの付属品と消耗部品は本製品専用の付属品以外を使用しない けが・故障の原因となります。</p> |
|  <p>ぬれた手で使用しない ショート・感電・けがの原因となります。 ぬれ手禁止</p> |  <p>電源プラグを持って巻き取る 電源コードを巻き取るときは、電源プラグを持って行う。 電源プラグが当たって、けがをするおそれがあります。</p> |
|  <p>使用するときには、必ずハンドルを持って使用する 使用中に本製品が落下したり、吸込口や排気口をふさがれ、故障の原因となります。</p> |  <p>コンセントの周りは清潔にする 絶縁劣化による感電・漏電火災・けがの原因となります。</p> |
|  <p>使用しないときは、電源プラグを抜き、電源コード巻取りボタンを押し、電源コードを巻き取る 電源コードに引っ掛けてけがをしたり、電源プラグや電源コードを傷つける原因となります。</p> |  <p>電源コードが破損した場合には、危険が生じないようにするために、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。</p> |

お使いになる前に

お使いになる前に

使用上のご注意

お願い

- 運転中は長さ調節レバー操作をしないでください
けがの原因となります。
- ゴミはこまめに捨ててください
フィルターやフロアノズル、ブラシ付すきまノズルに詰まり、故障の原因となります。
- ダストカップ部のお手入れは定期的に行ってください
吸込力の低下や故障の原因となります。
- ダストカップ部は専用のものを正しく取り付けてください
吸込力の低下や故障の原因となります。
- 本製品は一般家庭用のため、業務用には使用しないでください
発火・故障の原因となります。
- 天災などの不可抗力による損害、不当な修理・改造による故障などに対する保証はいたしかねます
- 次のようなものは吸わせないでください
フィルターやノズルに詰まり、故障・異臭・発火の原因となります。
・殺虫剤などの薬品類 ・除湿剤 ・多量の粉（消火器の粉など） ・スプレー
・ペットなどの排泄物が付着したもの ・水や液体 ・ガラス ・ピン ・針などのとがったもの
・つまようじ ・長いひも ・大きなゴミ ・湿ったもの ・カーペットのフリンジ（房）
・吸込口に詰まりやすいもの（ストッキングなど）
- 小石・砂などがある場所は掃除しないでください
故障・異臭の原因となります。
- 本体や伸縮式パイプの先で吸わないでください
必ずフロアノズル、または付属のブラシ付すきまノズルを接続してください。先端の摩耗などによる接触不良や破損の原因となります。
→狭所はブラシ付すきまノズルをご利用ください。
- 吸込口や排気口をふさいだまま使わないでください
故障の原因となります。
- 電源コードを巻き取るときは、電源プラグを持って行ってください
電源プラグが当たって、けがの原因となります。

保管のしかた

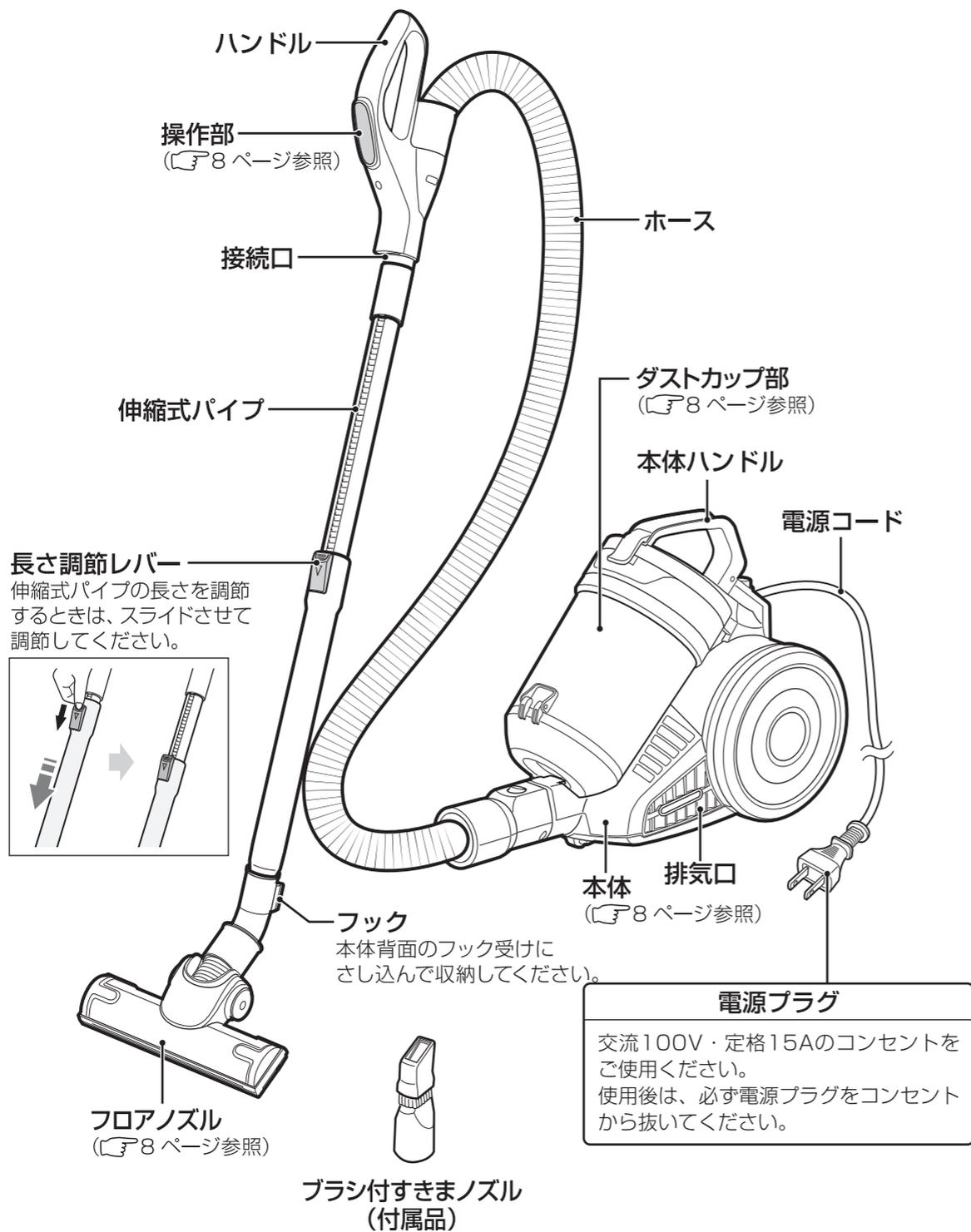
- 各部のお手入れを行い、水洗いしたダストカップは水をよく切って十分に陰干しで乾燥してください。ぬれたまま保管すると、感電・発火・故障の原因となります。
- 電源コードを巻き取り、直射日光を避けて屋内に保管してください
- 次の場所には保管しないでください
・直射日光の当たる場所 ・高温多湿になる場所 ・結露する場所
- 子供の手の届くところに保管しないでください

廃棄のしかた

- 商品および梱包材を廃棄する際は、お住まいの自治体の取り決めに従ってください

各部のなまえとはたらき

お使いになる前に



お使いになる前に

操作部

吸引力切り替えボタン
「強」・「中」・「弱」の3段階で調節できます。
+…押すたびに吸引力が強まります。
-…押すたびに吸引力が弱まります。

電源ボタン(入/切)
押すと電源が入り、「弱」運転を開始します。
もう一度押すと電源が切れ、運転を停止します。

ホース/伸縮式パイプ

電極

フロアノズル

起毛布

裏側

ブラシカバー
回転ブラシを取り外します。

回転ブラシ(消耗部品)

本体

吸気口フィルター(消耗部品)

ダストカップ取り外しボタン
ダストカップ部を取り外すときに押します。

通電ランプ
通電中に点灯(緑)します。

フック受け
フロアノズルのフックをさし込んで収納してください。

本体背面

電源コード巻取りボタン
電源コードを収納するときに押します。

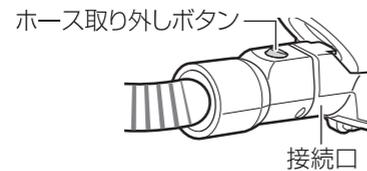
消耗部品 消耗部品はメーカー保証対象外で有償です。ご使用にともない劣化したり損傷したときは、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。

お願い

- ホースを踏みつけたり、激しく引っ張ったりしないでください。破損や傷をつける原因となります。
- 本体を持ち上げる前に、ダストカップ部が本体に確実に取り付けられていることを確認してください。
- 本体を運んでいるときは、ダストカップ取り外しボタンを押さないでください。ダストカップ部が外れて本体が落下し、けが・故障の原因となります。

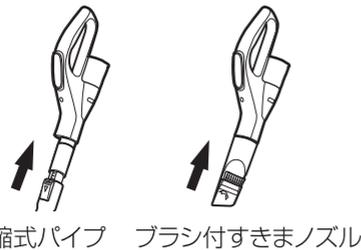
1 ホースの接続口を、本体の接続口に確実に接続する

- ホースの接続口の電極(2カ所)を、本体の接続口の溝に合わせて、確実に接続してください。
- 取り外すときは、ホース取り外しボタンを押しながら引き抜いてください。



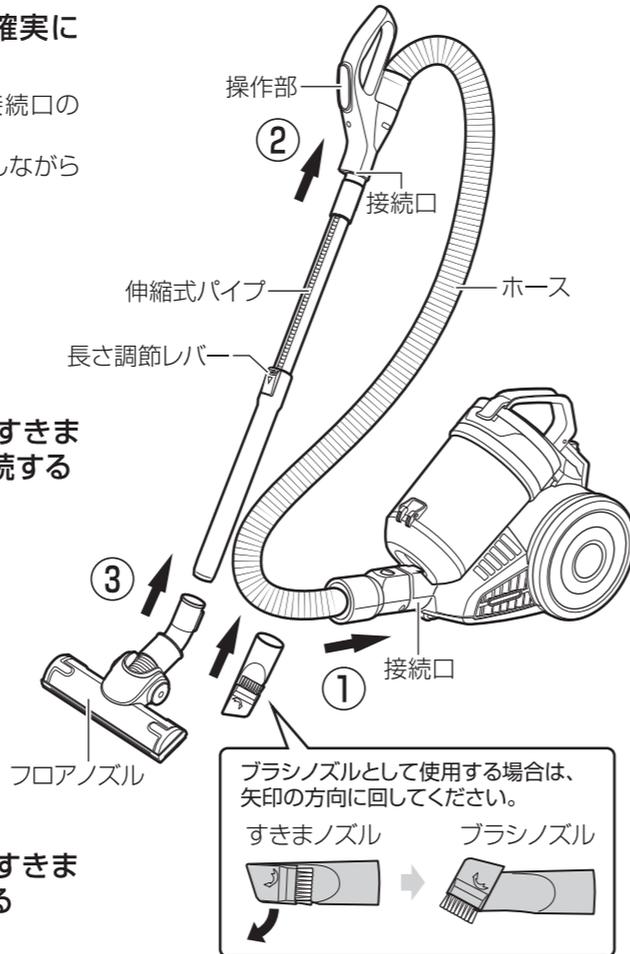
2 伸縮式パイプ、または付属のブラシ付すきまノズルを、操作部の接続口に確実に接続する

- 取り外すときは、引き抜いてください。
※回しながら引き抜くとスムーズに外れます。



3 フロアノズル、または付属のブラシ付すきまノズルを伸縮式パイプに確実に接続する

- 取り外すときは、引き抜いてください。



ブラシノズルとして使用する場合は、矢印の方向に回してください。

すきまノズル → ブラシノズル

掃除する場所に合わせて、フロアノズルとブラシ付すきまノズルを使い分ける

| フロアノズル | すきまノズル | ブラシノズル |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ●マット ●じゅうたん、畳 ●フローリングなど | <ul style="list-style-type: none"> ●サッシの溝 ●部屋の隅や手の届かないところ ●家具、小物などのすき間など | <ul style="list-style-type: none"> ●畳や床の間など ●ソファやいすなど ●テーブルや机の上や小物など |

お願い

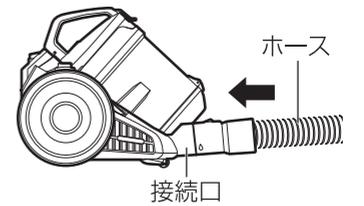
- 回転ブラシにゴミなどがからみついたままで長時間使わないでください。
- 掃除するときは、力を入れず、畳の目やフローリングの木目に沿って軽くゆっくり動かしてください。強く押しつけると床面や家具に傷をつける原因となります。
- ピアノなどの光沢のあるところには使わないでください。傷がつくおそれがあります。

お願い

- 大きめの紙片や包装用フィルムなどは、お掃除の前にあらかじめ拾っておいてください。吸込口通路やダストカップ内部に詰まる場合があります。
- 運転中は必ずフィルターを取り付けてご使用ください。
- 運転中は必ずフロアノズル、または付属のブラシ付すきまノズルを取り付けてご使用ください。
- 吸込口がふさがれたときは、すぐに運転を停止してください。
- ダストカップのゴミはこまめに捨ててください。ダストカップにゴミをためたまま使用しつづけると、吸引力の低下や故障の原因となります。
- フィルターが目詰まりした状態で使用し続けると、故障の原因となります。定期的にお手入れを行ってください。「お手入れのしかた」(P.12ページ)参照
- 持ち運ぶときは、電源コードを収納し、必ずハンドル、本体ハンドルを持ってください。ホースや伸縮式パイプを持つと、落下・破損・けがの原因となります。

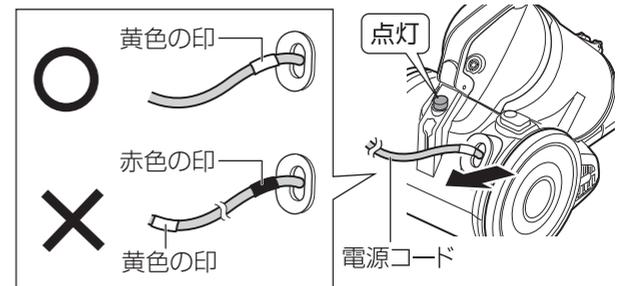
1 本体の接続口にホースが確実に取り付けられていることを確認する (P.9ページ参照)

- 伸縮式パイプの長さ調節レバーをスライドさせて、お好みの長さに調節してください。
- ※運転中は長さ調節レバーを操作しないでください。



2 電源コードを引き出し、電源プラグをコンセントにさし込む

- ※電源コードは黄色の印まで十分に引き出してください。
- 通電ランプが点灯(緑)します。



注意

- 電源コードを引き出すときは、ゆっくり引き出してください。また、赤い印以上に引き出さないでください。故障の原因となります。

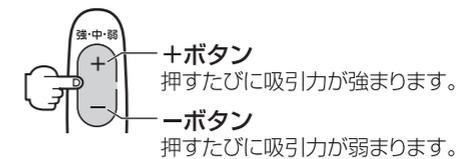
3 ハンドルをしっかりと持ち、「電源ボタン(入/切)」を押す

- 「弱」の吸引力で運転を開始します。
- ※運転中は絶対にダストカップ部を取り外さないでください。



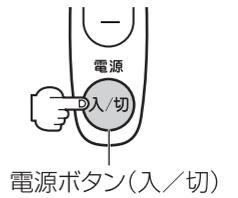
4 吸引力を切り替えるときは、「+ボタン」または「-ボタン」を押す

- 吸引力は3段階で調節できます。



5 掃除が終わったら、「電源ボタン」を押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

- 通電ランプが消灯します。
- ※通電したまま放置しないでください。
- ※電源プラグは、必ず本体の電源を切ってから抜いてください。

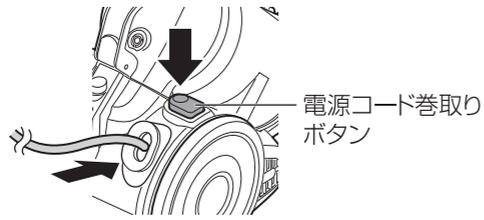


お使いになる前に

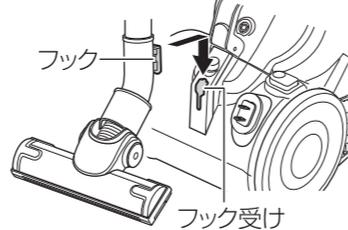
使いかた

6 掃除機を収納する

- ① 「電源コード巻取りボタン」を押し、電源コードを巻き取る



- ② 伸縮式パイプを縮め、フロアノズルのフックを本体背面のフック受けにさし込み収納する



ゴミを捨てる

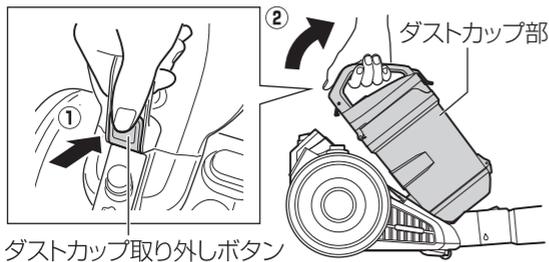
お願い

- ゴミを捨てるときは、必ず運転を停止してください。
- ダストカップ内部にたまったゴミは、ご使用のたびに捨ててください。
- 運転中は絶対にダストカップ部を取り外さないでください。
- ダストカップの「ゴミすてライン」以上にゴミをためないでください。(右記参照) 吸引力低下の原因となります。



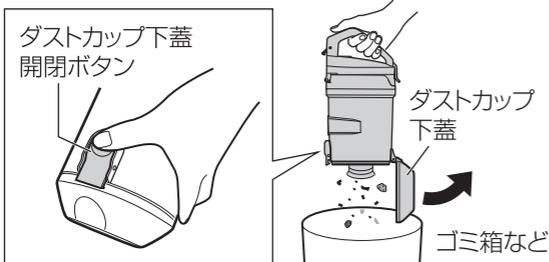
1 「ダストカップ取り外しボタン」を押し、ダストカップ部を取り外す

- ① 「ダストカップ取り外しボタン」を押しながら、
② ダストカップ部を上を持ち上げる



2 「ダストカップ下蓋開閉ボタン」を押し、ゴミを捨てる

※汚れが気になる場合は、お手入れを行ってください。
「お手入れのしかた(12ページ)参照」



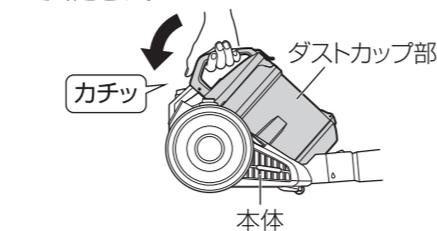
3 ダストカップ下蓋を閉める

- “カチッ”と音がするまで確実に閉めてください。



4 ダストカップ部を本体に取り付ける

- ダストカップ開閉ボタンを下側にして、“カチッ”と音がするまで上から押さえ、確実に取り付けてください。



※確実に取り付けられていることを確認してください。

お願い

- お手入れを行うときは必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 次の部品は、絶対に水につけたり水洗いしないでください。感電・故障の原因となります。
・本体 ・ホース ・伸縮式パイプ ・フロアノズル ・回転ブラシ ・ブラシ付すきまノズル
- お手入れの際にシンナー・アルコール・ベンジン・アルカリ性洗剤・漂白剤などを使わないでください。変色・変形・変質・破損し、故障の原因となります。
- ダストカップ部や吸気口、フロアノズルに汚れが付着したまま使用すると、吸引力が弱くなったり、モーターが故障する原因となります。定期的にお手入れを行ってください。
- ダストカップ部はこまめにお手入れを行ってください。
- 水洗いしたあとは、水をよく切って十分に陰干ししてください。ぬれたまま取り付けると、感電・発火の原因となります。
- ドライヤーなどの熱風を当てないでください。変形や故障の原因となります。
- 粉末や砂などを吸い込むと、各フィルターが目詰まりをおこす場合があります。粉末や砂などを吸い込んだ時は、すぐにお手入れを行ってください。

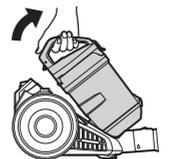
消耗部品はメーカー保証対象外で有償です。ご使用にともない劣化したり損傷したときは、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。

ダストカップ部のお手入れ



- ダストカップ部はこまめにお手入れを行ってください。
- 汚れが落ちにくいときは、水洗いをしてください。水洗いしたあとは、水をよく切って十分に陰干ししてください。ぬれたまま取り付けると、感電・ショート・発火・故障の原因となります。
※35℃以上のお湯で洗わないでください。
※ドライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。変色や変形の原因となります。

1 ダストカップ部を取り外し、ダストカップのゴミを捨てる (11ページ参照)



2 各部品のお手入れを行う (13ページを参考に、ダストカップ部の分解/組み立てを行ってください)

- 各部品を軽くたたき、付着しているゴミや汚れをあらかじめ取り除いてください。

- 水道水で汚れを洗い流してください。
- 細かい汚れは毛の柔らかいブラシなどで取り除いてください。

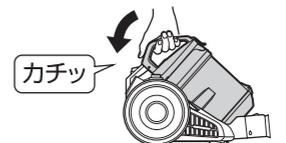


- 水道水で汚れを洗い流してください。※つけ洗いをしないでください。※ブラシなどを使用して洗わないでください。フィルターが破損するおそれがあります。



3 ダストカップ部を本体に取り付ける

- “カチッ”と音がするまで上から押さえ、確実に取り付けてください。(11ページ参照)



警告

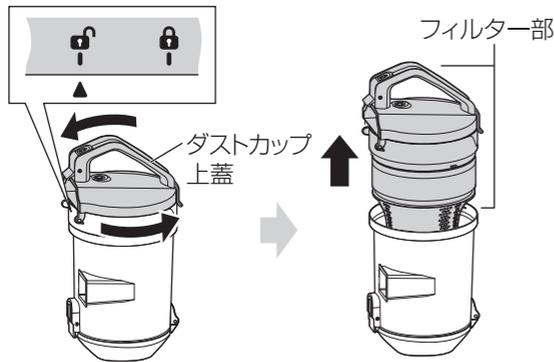
- 各部品が十分乾燥していることを確認し、ぬれている部品は絶対に使わないでください。感電・発火・故障の原因となります。

ダストカップ部の分解のしかた／組み立てかた

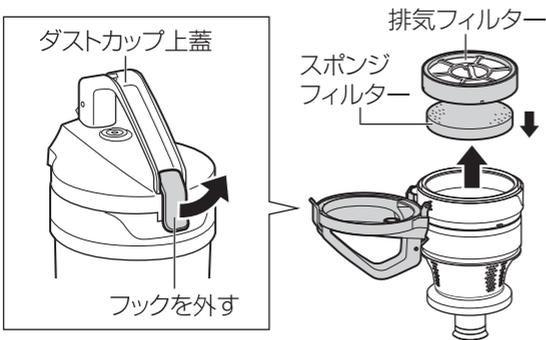
分解のしかた

1 ダストカップ上蓋を左側に回し、フィルター部を取り外す

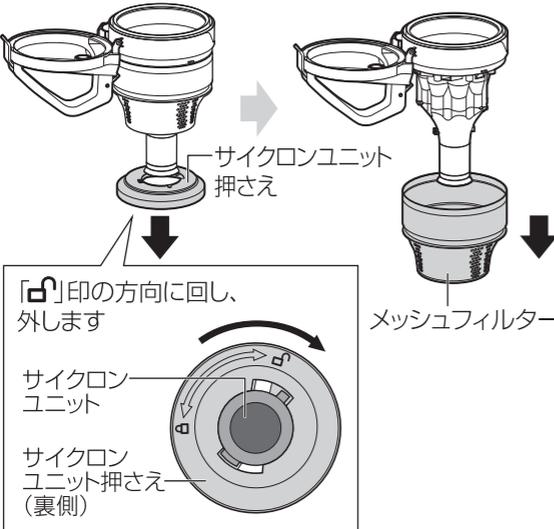
「**🔒**」印を「**▲**」印の位置に合わせる



2 ダストカップ上蓋を開け、排気フィルター・スポンジフィルターを取り出す



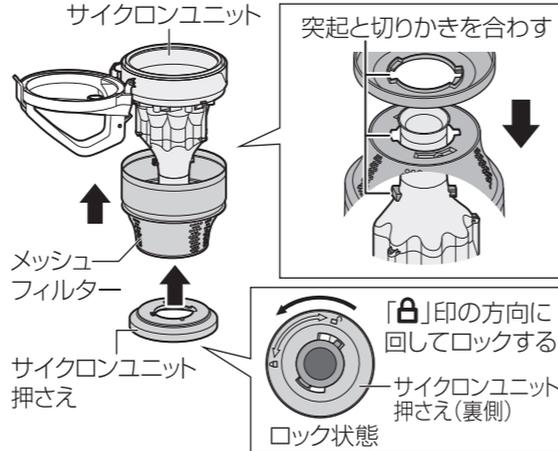
3 サイクロンユニットから、サイクロンユニット押さえ・メッシュフィルターを取り外す



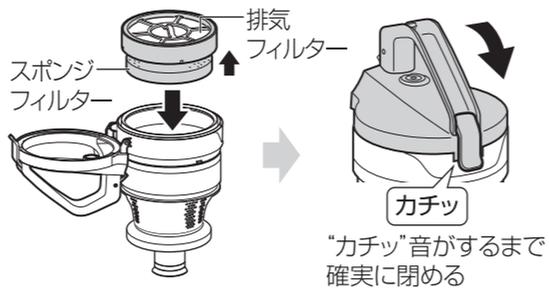
組み立てかた

※分解のしかたと反対の手順で組み立ててください。

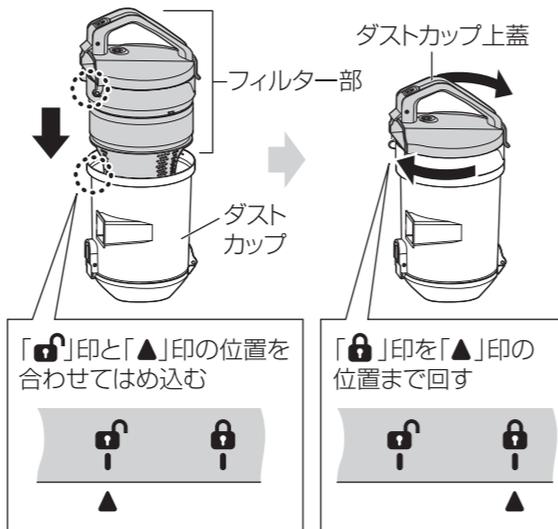
1 メッシュフィルターをサイクロンユニットに取り付け、サイクロンユニット押さえでロックする



2 排気フィルター・スポンジフィルターをサイクロンユニットに取り付け、ダストカップ上蓋を閉める



3 フィルター部をダストカップに取り付け、ダストカップ上蓋を右側に回して確実にロックする



回転ブラシのお手入れ



- フロアノズルの表面についた汚れは、本体のお手入れを参考に行ってください。(P.15ページ参照)
 - 回転ブラシは水洗いしないでください。
 - フロアノズルにゴミが詰まったり、回転ブラシにゴミが巻きついた場合は取り除いてください。
 - 吸込口付近、起毛布についたゴミや異物は、市販のブラシなどで取り除いてください。
 - 回転ブラシはフロアノズルから取り外すことができます。回転ブラシやローラーに糸くずや髪の毛などがからみついたときは、はさみで取り除いてください。
- ※ゴミがからみついたままお使いになると、フロアノズルにゴミが詰まり吸引力が弱くなり、故障の原因となります。

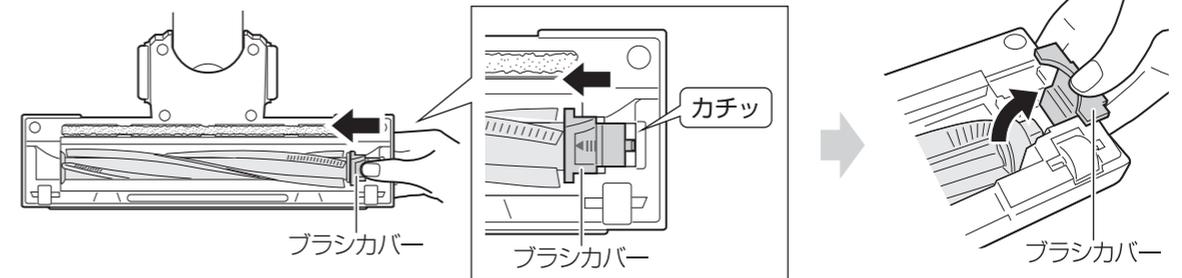
警告

● 運転中は、絶対にフロアノズルの回転部に触れないでください。けが・故障の原因となります。

回転ブラシの取り外しかた／取り付けかた

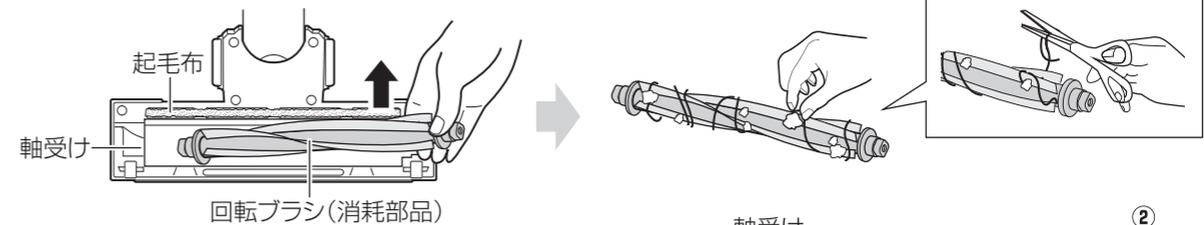
1 ブラシカバーを押さえつけながら、「**←** (矢印)」の方向へスライドさせて、ブラシカバーを開く

- “カチッ”と音がして、ブラシカバーがスライドします。



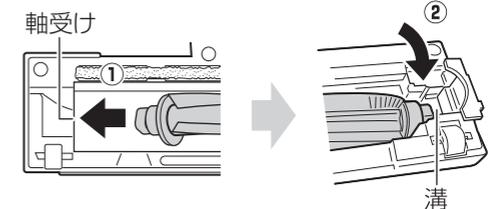
2 回転ブラシを取り外し、お手入れを行う

- からみついた糸くずなどは、はさみで取り除いてください。
- ※回転ブラシは水洗いしないでください。



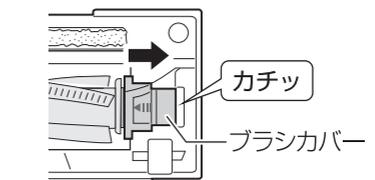
3 回転ブラシをフロアノズルに取り付ける

- ※回転ブラシに左右の向きはありません。
- ① 回転ブラシの軸をフロアノズルの軸受けにさし込む
- ② 回転ブラシの軸をブラシカバー側の溝に取り付ける



4 ブラシカバーを閉じ、「**→** (矢印)」の方向へ押しロックする

- ※ “カチッ”と音がするまで、確実にロックしてください。



長くご利用いただくために

長くご利用いただくために

お手入れのしかた

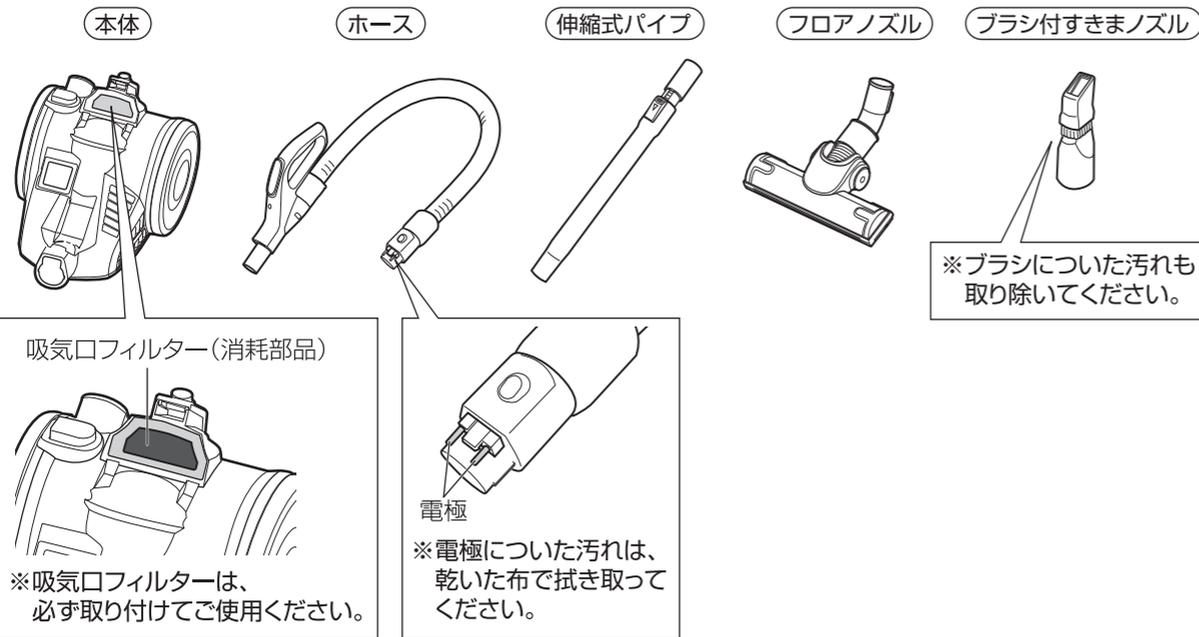
本体・ホース・伸縮式パイプ・フロアノズル・ブラシ付すきまノズルのお手入れ

- 水をふくませた柔らかい布をかたくしぼって拭いてから、乾いた布で拭いてください。汚れが落ちにくいときは、水でうすめた台所用中性洗剤をふくませた柔らかい布をかたくしぼって拭いたあと、洗剤を拭き取ってください。
※シンナー・ベンジン・漂白剤・研磨剤入り洗剤などは使わないでください。
- 吸気口についたホコリは取り除いてください。ホコリがついたまま使用すると故障の原因となります。
- 本体・ホースは、柔らかい布で拭き取ってください。



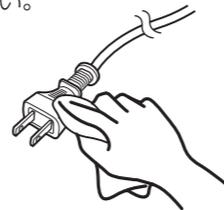
警告

- 本体・電源プラグ・ホース・伸縮式パイプ・フロアノズル・ブラシ付すきまノズルを水に浸けたり、丸洗いしないでください。
火災・感電・ショート・故障の原因となります。



電源プラグのお手入れ

- 電源プラグについた汚れは、定期的に乾いた布で拭き取ってください。



故障かな?と思ったら

17 ページへつづく

修理を依頼される前に、次のことをお確かめください。

| 症状 | 確認してください | 処置の方法 | 参照ページ |
|-------------------------|-----------------------------|--|-------|
| 電源ボタン(入/切)を押しても運転しない | 電源プラグはコンセントに確実にさし込まれていますか? | 電源プラグをコンセントに確実にさし込んでください。 | 10 |
| 通電ランプが点灯しない | 電源プラグはコンセントに確実にさし込まれていますか? | 電源プラグをコンセントに確実にさし込んでください。 | 10 |
| 運転音が大きくなった 吸引力が弱くなった | ダストカップがゴミでいっぱいになっていませんか? | ゴミを捨ててください。 | 11 |
| | ホース、ノズル、回転ブラシにゴミが詰まっていますか? | 詰まっているゴミを取り除いてください。 | 14-15 |
| | 吸気口にゴミやホコリが付着していませんか? | お手入れを行ってください。 | 15 |
| | ホースが本体の接続口にしっかりさし込まれていますか? | ホースを確実に本体の接続口にさし込んでください。 | 9 |
| | フィルターが汚れていませんか? | お手入れを行ってください。 | 12 |
| 使用中に運転が停止する | モーターの過熱を防ぐため、安全装置が働いていませんか? | ①電源プラグを抜く ②安全装置が働いた原因を調べる →ダストカップ内部(各フィルター)のゴミを取り除く。 →ノズル・伸縮式パイプ・ホースに詰まっているゴミを取り除く。 →連続吸引すると、本体の詰まり、モーター負荷、過熱故障の原因となります。長時間の連続吸引を避けてください。 ③30分待つ(モーターが冷えて、安全装置が解除される) | - |
| 排気がにおう | フィルターが汚れていませんか? | お手入れを行ってください。 | 12 |
| | ダストカップ部を水洗いしたあと、十分に乾燥しましたか? | 乾燥が不十分な状態で使用すると、においが発生する原因となります。十分に乾燥させてください。 | 12 |
| ゴミが飛び散ってしまう | フィルターを水洗いしたあと、十分に乾燥しましたか? | 乾燥が不十分な状態で使用すると、においが発生する原因となります。十分に乾燥させてください。 | 12 |
| | ダストカップが本体に確実に取り付けられていますか? | ダストカップを本体に確実に取り付けてください。 | 11 |
| | フィルターが正しく取り付けられていますか? | フィルターを正しくセットし直してください。 | 13 |

長くご愛用いただくために

長くご愛用いただくために

故障かな？と思ったら

| 症状 | 確認してください | 処置の方法 | 参照ページ |
|------------------------|---------------------------------|---|-------|
| ダストカップが閉まらない | フィルター部は正しくセットされていますか？ | フィルター部を正しくセットし直してください。 | 13 |
| フィルター部がダストカップに取り付けられない | フィルター部が正しく取り付けられていますか？ | フィルター部を確実に取り付けてください。 | 13 |
| 電源コードが巻けない | 電源コードがよじれていませんか？ | 電源コードを本体から引っ張り出して、再度電源コード巻取りボタンを押して、コードを収納してください。 | 11 |
| 電源コードが引けない | 電源コードがよじれて収納されていませんか？ | 無理に引っ張らず、電源コード巻取りボタンを押しながら少しずつ巻き取りと引き出しを行ってください。 | 11 |
| 使用中、本体が温かい | 電流が流れているため、少し温かくなりますが故障ではありません。 | | - |

点検後、異常がある場合は、お客様ご自身で修理せずにお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。詳しくは、18ページの「修理サービスについて」をご参照ください。

仕様

| | |
|--------|-----------------------------|
| 品名 | サイクロン式クリーナー |
| 品番 | YC-C90H1 |
| 定格電圧 | 交流100V 50-60Hz 共用 |
| 消費電力 | 1000W |
| 吸込仕事率 | 200W |
| 集塵容積 | 0.9L |
| 吸込方式 | サイクロン式 |
| パワー調節 | 3段階 |
| コードの長さ | 約 4.0m |
| 外形寸法 | 長さ約 320 × 幅約240 × 高さ約260 mm |
| 質量 | 約 3.9kg (付属品込：5.4kg) |
| 付属品 | ブラシ付すきまノズル |
| 消耗部品 | フィルター部・吸気口フィルター・回転ブラシ |

- 仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品は、海外ではご使用になれません。FOR USE IN JAPAN ONLY

愛情点検 長年ご使用のサイクロン式クリーナーの点検を！



こんな症状はありませんか

- 本体が変形したり、異常に熱い。
- 電源コードや電源プラグが変形・変色・損傷している。
- 電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い。
- 電源プラグや電源コードを動かすと通電したり、しなかつたりする。
- 異常なおいや音、振動がする。
- ビリビリと電気を感じる。

こんなときは

→

使用を中止してください。

故障や事故防止のため、電源プラグを抜いて、必ずお買上げの販売店に点検をご相談ください。

こんなことはありませんか

電源プラグにホコリやゴミがたまっている。

→

ホコリやゴミを取り除いてください。

修理サービスについて

(1) 保証書

- この製品には、保証書がついています。保証書は、お買上げの販売店で『販売店名・お買上げ日』等の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みのと、大切に保管してください。なお、製品の修理以外の保証はいたしかねます。保証期間は、お買上げ日より本体 1 年間です。

(2) 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は内部機構をさわらずに（保証期間外の場合でも内部はさわらないでください）お買上げの販売店に修理をご依頼ください。保証書の記載内容により修理いたします。保証書のご提示なき場合、有料修理となることがあります。
- 保証期間が過ぎているときはお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

(3) 補修用性能部品の保有期間

このサイクロン式クリーナーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打切後6年です。

(4) ご使用中ふだんと変わった状態になりましたら、ただちにご使用を中止し、お買上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

- お客様ご自身での分解・修理は危険です。修理には特殊な技術が必要です。

(5) 修理サービスについてご不明な場合

- 修理サービスや製品についてのご相談は、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にお問い合わせください。
- ご転居やご贈答品等でお困りの場合は、株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にお問い合わせください。

株式会社ヤマダホールディングス

お客様相談室や保証書におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

- お客様相談室でお受けした個人情報、保証書にご記入いただいた個人情報は、商品、サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために株式会社ヤマダホールディングスおよび関係会社で上記個人情報を利用することがあります。
- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては株式会社ヤマダホールディングスと同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。